

CA Clarity™ PPM

PMO アクセラレータ リリース ノート - オンプレミス

リリース 14.1.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: PMO アクセラレータへようこそ	7
リリース 14.1 の新機能	8
新しいポートレットと強化されたポートレット	8
属性の上書き	12
ビュー保護	13
サポート対象外となった属性	19
 第 2 章: インストール情報	 21
アドインのインストール	21
自動的にインストールされるアドイン項目	23
アドイン項目のインストール (以前にインストールしたリリースのみ)	34
CA ベストプラクティス アクセラレータ	36
PMO アクセラレータ サンプルデータのインストール	37
 第 3 章: 認定およびサポートされているバージョン	 39
 第 4 章: ローカライゼーション	 41
 第 5 章: ドキュメント	 43
 第 6 章: 追加リソース	 45
テクニカル サポートへのお問い合わせ	45
 第 7 章: アップグレード情報	 47
PMO リリース 3.3 から PMO リリース 14.1 へのアップグレード	47

第 1 章: PMO アクセラレータへようこそ

CA Clarity PMO アクセラレータ リリース 14.1 アドイン (PMO アクセラレータ) のリリース ノートへようこそ。このアドインは、CA Clarity Project & Portfolio Manager (CA Clarity PPM) リリース 14.1 に基づいています。このドキュメントは、アドインの使用を開始する場合に役立ちます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[リリース 14.1 の新機能](#) (P. 8)

[新しいポートレットと強化されたポートレット](#) (P. 8)

[属性の上書き](#) (P. 12)

[ビュー保護](#) (P. 13)

[サポート対象外となった属性](#) (P. 19)

リリース 14.1 の新機能

このバージョンでは、以下の新機能および拡張機能を利用できます。

- [PMO ポートフォリオ投資ダッシュボード] ページに、[スコアカード] タブが含まれるようになります。[スコアカード] タブには、2 つのポートレットが表示されます。

- 残高
- 投資コストとロール需要（以前は、[分析] タブで利用できました）

[分析] タブには、現在、以下に示す 4 つのポートレットが含まれます。

- ゴール別計画コスト
- ゴール別計画利益
- ゴール別ロール需要
- ゴール別計画 NPV

[ゴール別計画利益] および [ゴール別計画 NPV] は新しいポートレットです。以前に [分析] タブで設定された [ウォーターライン別計画コスト] および [ウォーターライン別ロール需要] ポートレットは、現在も、設定に利用できます。

- [概要：問題とリスク] ページは、[リスク、問題および変更] に名前が変更され、新しいポートレットの [変更依頼管理] が含まれます。
- ポートレットクエリのパフォーマンス向上。
- 19 言語の全面的なローカライゼーションサポート。

新しいポートレットと強化されたポートレット

リリース 14.1 では、以下のポートレットが追加または強化されました。これらのポートレットの詳細な説明については、[PMO アクセラレータ製品ガイド] を参照してください。

ポートレット名	新規	強化	変更なし
トランザクション タイプ別実績値			X
残高	X		

ポートレット名	新規	強化	変更なし
資本および業務予算 vs 予測			X
資本および業務コストの要約			X
変更依頼管理	X		
コストと工数ダッシュボード			X
コストとスケジュールの概要		X	
現在の問題			X
現在の問題のリスト			X
フェーズ別アーンドバリュー分析			X
投資コストとロール需要			X
期間別投資コスト			X
投資会計要約			X
期間別投資計画			X
投資スケジュール			X
投資タイムシートのレビュー			X
投資タイムシートの要約			X
問題管理			X
問題の優先度別表示			X
問題リスト			X
ステータス レポート遅延			X
遅延タスクとマイルストーン			X
マイルストーン			X
ステータス レポート欠如			X
マイ タイムシート		X	
概要プログラム フィルタ			X
概要プロジェクト フィルタ			X
概要スポンサー フィルタ			X
未確定の見積もりのレビュー			X

新しいポートレットと強化されたポートレット

ポートレット名	新規	強化	変更なし
ゴール別計画利益	X		
ゴール別計画コスト			X
プロジェクト タイプ別計画コスト			X
ウォーターライン別計画コスト			X
ゴール別計画 NPV	X		
ポートフォリオ資本および業務コスト分析			X
ポートフォリオ資本および業務コスト			X
ポートフォリオのコストと利益の分析			X
全体的な健全性別のポートフォリオ コスト			X
ポートフォリオ コスト			X
ポートフォリオ ダッシュボード フィルタ			X
承認別ポートフォリオ投資数			X
ゴール別ポートフォリオ投資数			X
タイプ別ポートフォリオ投資数			X
ウォーターライン別ポートフォリオ投資数			X
作業ステータス別ポートフォリオ投資数			X
ポートフォリオ投資ダッシュボード フィルタ			X
ゴール別ポートフォリオ計画コスト			X
ゴール別ポートフォリオ計画 NPV			X
ポートフォリオ ロール分析			X
ゴール別ポートフォリオ ロール需要			X
ポートフォリオ ロール			X
ポスト済みトランザクション レビュー (投資)			X
ポスト済みトランザクション レビュー			X
プロセス ボトルネック		X	
プログラム マネージャ コスト ダッシュボード			X

ポートレット名	新規	強化	変更なし
プログラム マネージャ スケジュール ダッシュボード			X
プロジェクト分析			X
プロジェクト ベースライン		X	
フェーズ別プロジェクト コスト			X
リソース別プロジェクト コスト			X
タスク別プロジェクト コスト			X
プロジェクト サイクル時間分析			X
プロジェクト ドキュメント レビュー			X
プロジェクト インジケータ			X
OBS 別のプロジェクト KPI			X
プロジェクト ライフサイクルのレビュー			X
プロジェクト スケジュール			X
リソース稼働ステータス			X
月別リソース稼働率パーセント			X
リスク管理			X
ロールのキャパシティと需要			X
ロールのキャパシティと需要ヒストグラム			X
ゴール別ロール需要			X
ウォーターライン別ロール需要			X
スケジュールと進捗ステータス			X
スケジュール ダッシュボード			X
スケジュール パフォーマンス			X
スケジュール パフォーマンスの詳細			X
スタッフ配置		X	
スタッフ割り当て		X	
ステータス レポート インジケータ			X

属性の上書き

ポートレット名	新規	強化	変更なし
ステータス レポート リスト			X
[ステータス レポート レビュー] フィルタ			X
チーム キャパシティ			X
チーム メンバー タスク要約			X
チーム稼動ステータス			X
タイムシート メモ			X
タイムシートの概要フィルタ		X	
タイムシートのレビュー			X
今後のマイルストーン			X

属性の上書き

以前のバージョンの PMO アクセラレータ によってインストールされた属性は、PMO アクセラレータ の上位バージョンへのアップグレード時に上書きされます。名前、計算属性の式、または表示マッピングを変更して、これらの属性を設定している場合、設定が上書きされるため、アップグレード後に手動で再度設定を行う必要があります。これらの属性は、投資、プロジェクト、およびステータス レポート オブジェクト上にあります。アップグレード時に上書きされる項目の一覧については、「[自動的にインストールされるアドイン項目](#) (P. 23)」を参照してください。

ビュー保護

ビューを設定するために以前に **Studio** を使用したか、または別のアドインをインストールしてビューを設定した場合、**PMO アクセラレータ** アドインをインストールしても、これらの設定はそのまま残ります。インストール時に新しい内容または変更された内容で上書きされません。既存の設定を手動で変更するか、または **PMO アクセラレータ** で提供される新しい内容を適用するかを決定できます。

このアドインによってインストールされたビューの変更を適用する方法については、「[アドイン項目のインストール \(P. 34\)](#)」を参照してください。

以下の表に、**PMO リリース 14.1** で変更されたすべてのビューを示します。この情報で、既存のビューに手動で変更を加えるか、新しいビューを適用するかを決定できます。

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
アプリケーション	アプリケーションのプロパティ			X
	アプリケーション リスト			X
	アプリケーション フィルタ			X
資産	資産のプロパティ			X
	資産リスト			X
	資産フィルタ			X
割り当て	割り当てのプロパティ			X
	タスク割り当てリスト			X
ベースライン	ベースライン リビジョンのプロパティ			X
	ベースライン リビジョン リスト			X
	ベースライン リビジョン フィルタ			X
利益計画	利益計画プロパティ			X
	利益計画リスト			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	利益計画フィルタ			X
利益計画の詳細	利益計画の詳細プロパティ			X
	利益計画の詳細リスト			X
	アイデア利益計画の詳細リスト			X
	利益計画の詳細フィルタ		X	
	アイデア利益計画の詳細フィルタ			X
変更	変更プロパティ			X
	変更リスト			X
	変更フィルタ			X
コスト計画	コスト計画プロパティ			X
	コスト計画リスト			X
	コスト計画フィルタ			X
	予算リスト			X
	予算フィルタ			X
コスト計画の詳細	コスト計画の詳細のプロパティ			X
	アイデア コスト計画請求の詳細リスト			X
	コスト計画の詳細リスト			X
	コスト計画の詳細フィルタ			X
	予算計画の詳細フィルタ			X
総勘定元帳配置	総勘定元帳配置借方プロパティ			X
	借方ルール リスト			X
	借方ルール フィルタ			X
	標準ルール借方プロパティ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	標準ルール リスト			X
	標準ルール フィルタ			X
総勘定元帳配置の詳細	間接費ルールの詳細プロパティ			X
	間接費ルールの詳細リスト			X
	間接費ルールの詳細フィルタ			X
	借方ルールの詳細リスト			X
	標準ルールの詳細リスト			X
アイデア	アイデアのプロパティ			X
	アイデア リスト			X
	アイデア フィルタ			X
問題	問題のプロパティ			X
	問題リスト			X
	問題フィルタ			X
	関連問題リスト			X
他の作業	他の作業プロパティ			X
	他の作業リスト			X
	他の作業フィルタ			X
製品	製品のプロパティ			X
	製品リスト			X
	製品フィルタ			X
プロジェクト	プロジェクトのプロパティ			X
	プロジェクトリスト			X
	プロジェクトフィルタ			X
	プログラムのプロパティ			X
	プログラム リスト			X
	プログラム フィルタ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	担当プロジェクト			X
	サブプロジェクト選択リスト			X
	サブプロジェクト選択フィルタ			X
	プロジェクトテンプレート フィルタ			X
	プロジェクトリリース フィ ルタ			X
	プロジェクト要件フィルタ			X
リソース	リソース労働プロパティ			X
	リソース備品プロパティ			X
	リソース資材プロパティ			X
	リソース経費プロパティ			X
	ロールの労働プロパティ			X
	ロールの備品プロパティ			X
	ロールの資材プロパティ			X
	ロールの経費プロパティ			X
	リソース リスト			X
	リソース フィルタ			X
	リソースの選択リスト			X
	リソース選択リスト			X
	リソース ファインダ リスト			X
	部門リソース リスト			X
	リソースの選択フィルタ			X
	リソース選択フィルタ			X
	リソース ファインダ フィル タ			X
	部門のリソース フィルタ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
リソース貸方	リソース貸方			X
	リソース貸方リスト			X
	リソース貸方フィルタ			X
リソース貸方詳細	リソース貸方詳細リスト			X
リスク	リスクのプロパティ			X
	リスク リスト			X
	リスク フィルタ			X
	関連リスク リスト			X
サービス	サービス プロパティ			X
	サービス リスト			X
	サービス フィルタ			X
	サービス加入リスト			X
	サービス加入フィルタ			X
	サービス加入リスト (追加)			X
	サービス加入フィルタ (追加)			X
ステータス レポート	ステータス レポートのプロパティ			X
	ステータス レポート リスト			X
	ステータス レポート フィルタ			X
タスク	タスクのプロパティ			X
	タスク リスト			X
	タスク フィルタ			X
	関連付けタスク リスト			X
	ガント リスト			X
	タスク リソース稼働ステータス リスト			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	プロジェクト要件タスク リスト			X
	タスクの選択リスト			X
	関連付けタスク フィルタ			X
	ガント フィルタ			X
	タスク リソース稼働ステータス フィルタ			X
チーム	スタッフ メンバのプロパティ			X
	プロジェクトチーム スタッフリスト			X
	プロジェクトチーム詳細リスト			X
	チーム スタッフリスト (投資)			X
	チーム詳細リスト (投資)			X
	リソース配置リスト			X
	リソース配置詳細リスト			X
	チーム選択リスト			X
	プロジェクトチーム フィルタ			X
	チーム フィルタ			X
	リソース配置フィルタ			X
	リソース選択フィルタ			X

サポート対象外となった属性

PMO アクセラレータ リリース 14.1 では、以下の属性が削除されており、サポート対象外となっています。

- BTM 統合 (ID : btm_integration)

この属性は投資およびポートフォリオ投資オブジェクトで利用できました。この属性は、PMO アクセラレータでは提供されなくなりましたが、アップグレードで自動的に削除されることはありません。アップグレードを行うお客様は、この属性を投資オブジェクトから手動で削除する必要があります。これにより、この属性はポートフォリオ投資オブジェクトから自動的に削除されます。

第 2 章：インストール情報

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[アドインのインストール \(P. 21\)](#)

[自動的にインストールされるアドイン項目 \(P. 23\)](#)

[アドイン項目のインストール \(以前にインストールしたリリースのみ\) \(P. 34\)](#)

[CA ベストプラクティス アクセラレータ \(P. 36\)](#)

[PMO アクセラレータ サンプルデータのインストール \(P. 37\)](#)

アドインのインストール

ユーザがコンテンツを利用できるように、CA Clarity アプリケーション サーバに PMO アクセラレータ アドインをインストールします。PMO アクセラレータ アドインは CA Clarity PPM 製品に付属しており、いつでもインストールできます。PMO アクセラレータ リリース 3.2 より前のリリースでは、サポートサイトからアドインインストーラをダウンロードする必要がありましたが、これは必要なくなりました。

以前の CA Clarity PPM リリースからアップグレードしており、PMO アクセラレータがインストールされている場合は、その PMO アクセラレータもアップグレードする必要があります。CA Clarity PPM バージョンと共にインストールする必要があるアドインのバージョンを確認するには、認定およびサポートされているバージョンの表を参照してください。

ベストプラクティスとして、アドインをインストールする前に、既存の CA Clarity PPM インストールディレクトリおよびデータベースをバックアップすることを推奨します。

以下の手順では、CA Clarity PPM アプリケーション サーバに PMO アクセラレータ アドインをインストールする方法について説明します。

次の手順に従ってください：

1. サービスの停止。
2. インストール スクリプトの実行。
3. サービスの起動

サービスの停止。

アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM アプリケーション (app) および CA Clarity PPM バックグラウンド (bg) サービスを停止します。サービスは Clarity システム管理から停止します。CA Clarity PPM サービスの停止については、「CA Clarity PPM インストールガイド」を参照してください。

インストールスクリプトの実行

以下の手順では、ルックアップ、クエリ、ポートレット、ページ、ビュー、プロセス、グループ、リソースロール、プロジェクトテンプレートおよびデータベースオブジェクトをインストールします。

重要: このアドインをインストールする前に、CA Clarity PPM インストールをバックアップし、必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるようにします。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

次の手順に従ってください:

1. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM runtime bin ディレクトリに移動します。
2. 以下のコマンドを入力します。
`admin content csk`
インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。これらの情報はキャプチャされ、ログディレクトリにある `admin.log` ファイル内に格納されます。出力ファイルは `logs/content/xog/csk` ディレクトリに格納されます。
3. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

サービスの起動

アドインのインストール後、CA Clarity アプリケーション (app) サービスと CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを開始します。サービスは Clarity システム管理から起動します。CA Clarity サービスの起動については、「CA Clarity PPM インストールガイド」を参照してください。

自動的にインストールされるアドイン項目

以下の項目について PMO アクセラレータによってインストールされた内容を以前に設定している場合、この設定は保持されません。これらはインストールまたはアップグレード時に上書きされます。変更の適用が必要なため、各 PMO リリースでは、これらの項目が強制的にインストールされます。テーブル内の説明列は、非オブジェクト変更に対して最初に項目変更が含まれたリリースを参照します。

名前	タイプ	説明
投資	オブジェクト	このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングが投資オブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます：[アーキテクチャの適合度]、[BTM 統合]、[ビジネス整合性]、[ビジネスユニット優先度]、[商品価値]、[企業優先度]、[ポートフォリオカテゴリ 1]、[ポートフォリオカテゴリ 2]、[ポートフォリオカテゴリ 3]、[ポートフォリオカテゴリ 4]、[法的遵守性]、[テクノロジー準拠性]、および[作業ステータス]。 また、CA Clarity PPM でインストールされる次の属性の表示マッピングも含まれます：[進捗ステータス]および[ステータス インジケータ]。
ポートフォリオ投資	オブジェクト	PMO アクセラレータ投資およびプロジェクト属性のポートフォリオプロバイダおよびポートフォリオポートレットでの利用を保証するために、この項目のインストールが強制的に行われます。
プロジェクト	オブジェクト	このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングがプロジェクトオブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます：[ビジネス オーナー]、[コスト差異 (%)]、[予想要因 1]、[予想要因 2]、[会計とガバナンス]、[目標]、[プロジェクトカテゴリ]、[予測コスト差異]、[予測コスト差異 (%)]、[予測工数差異]、[予測工数差異 (%)]、[プロジェクトマネジメントオフィス]、[プロジェクトテンプレート]、[プロジェクトタイプ]、[ベースラインスケジュール]、[スケジュール差異 (%)]、および[ステータス レポート]。 また、CA Clarity PPM でインストールされる[リスク]属性の表示マッピングも含まれます。

名前	タイプ	説明
ステータス レポート	オブジェクト	このアイテムは、ステータス レポート オブジェクト全体が PMO アクセラレータ と共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。その属性のすべての変更および対応するすべての表示マッピングが、インストール時に上書きされます。これにはオブジェクト ビューは含まれません。つまり、オブジェクト ビューは上書きされません。
PMO - プロジェクト ステータス	ページ	PMO バージョン 3.0 : このアイテムは、ページ レイアウトが PMO アクセラレータ と共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。次のポートレットが含まれます: [プロジェクト インジケータ]、[今後のマイルストーン]、[プロジェクト ベースライン]、[ステータス レポート インジケータ]、[トランザクション タイプ別実績値]、および [チーム稼働ステータス]。
トランザクション タイプ別実績値	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。クエリ プロバイダの変更は、パフォーマンスを向上させるために行われました。これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がポートレット設定で使用できなくなりました: [残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクト コード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクト エンティティ]、[プロジェクト ID]、[プロジェクト内部 ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソース エンティティ]、[リソース内部 ID]、[リソースの場所]、[タスク内部 ID]、[トランザクション クラス]、[トランザクション内部 ID]、[トランザクション タイプ]、および [WBS シーケンス]。また、集計行も削除されました。 ポートレットは、Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。 ポートレットには、[トランザクション] / [リソース] / [日付] 列に続いてグリッドに表示される 2 つのプレースホルダ列があります。ポートレットが Excel にエクスポートされないと、これらのプレースホルダ列にはデータが表示されません。ポートレットが Excel にエクスポートされると、リソース名およびトランザクション日がプレースホルダ列に表示されます。

名前	タイプ	説明
コストとスケジュールの概要	ポートレット	PMO リリース 14.1 パフォーマンス向上は、クエリ プロバイダに対して行われています。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクト ダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクト プロパティ ページにリンクするようになりました。 [計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。 [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	PMO リリース 3.3 : ポートレットに、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が追加されました。 [請求コード] の後にあります。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コスト タイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。 ポートレットはフィルタリングなしでは結果を表示せず、[投資フィルタ] が必要になりました。 注: このポートレットは、メニューの [ポスト済みトランザクションレビュー] ページから使用できます。
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	PMO リリース 3.3 : ポートレットに、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が追加されました。 [請求コード] の後にあります。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コスト タイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。 注: このポートレットは、コスト計画詳細オブジェクト アクションとして使用できます。

名前	タイプ	説明
プログラム マネージャ コスト ダッシュボード	ポートレット	PMO リリース 14.1 クエリが修正され、計画 ROI および計画 IRR がパーセント計算済み数値として表示されます。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクト ダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクト プロパティ ページにリンクするようになりました。 [計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。 [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
スケジュールと進捗ステータス	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [計画資本コスト] および [計画業務コスト] メトリックは、このポートレットに対する設定で追加できます。
チーム メンバー タスク要約	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクト ダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクト プロパティ ページにリンクするようになりました。 タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合、ポートレットにはガイドライン アイコンが表示されるようになりました。

名前	タイプ	説明
トランザクションタイプ別実績値	クエリ	PMO リリース 3.2 : パフォーマンス向上は、このクエリ プロバイダに対して行われました。これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がクエリから削除されました：[残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクトコード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクトエンティティ]、[プロジェクトID]、[プロジェクト内部ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソースエンティティ]、[リソース内部ID]、[リソースの場所]、[タスク内部ID]、[トランザクションクラス]、[トランザクション内部ID]、[トランザクションタイプ]、[WBS シーケンス]。また、クエリも Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。
コストと工数ダッシュボード	クエリ	PMO リリース 3.3 : これは新しいクエリです。このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
コストとスケジュールの概要	クエリ	PMO リリース 14.1 パフォーマンス向上は、クエリ プロバイダに対して行われています。 PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト(%)]、[計画業務コスト]、および[計画業務コスト(%)]という新しいコスト列が含まれるようになりました。また、[実コスト] 列も [実コスト(ACWP)] に名前が変更されました。
現在の問題	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
現在の問題のリスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベーススキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
フェーズ別 アーンドバ リユー分析	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
投資リソース 稼働ステータ ス	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。
投資タイム シートのレ ビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
投資タイム シートの要約	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
問題管理	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは「はい」に設定されており、プログラムの問題がポートレットに表示されることを意味します。
優先度別問題	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
問題のリスト	クエリ	PMO リリース 3.3 : 投資のプロパティへのリンクがクエリに追加されました。
ステータス レ ポート遅延	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは「はい」に設定されており、プログラム遅延ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。

名前	タイプ	説明
遅延タスクと マイルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
マイルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レポート欠如	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは「はい」に設定されており、プログラムのステータス レポート欠如がポートレットに表示されることを意味します。
マイ タイム シート	クエリ	PMO リリース 14.1 クエリの MS SQL Server バージョンが修正され、いくつかの特定の状況でクエリが重複したディメンションデータを作成しなくなりました。
保留中の見積もり	クエリ	PMO リリース 3.3 : ETC の推奨変更がゼロの場合、クエリはレコードを除外します。 PMO リリース 3.2 : クエリは、値に設定された未確定の ETC のみを含みます。未確定の ETC は、NULL である（値が入力されていない）場合、クエリ結果に含まれません。
プロセス ボトルネック	クエリ	PMO リリース 14.1 クエリは、プロセス マイルストーン ステップでアクション アイテムと関連付けられた多くのレビュー担当者をサポートします。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
プログラムマネージャコストダッシュボード	クエリ	PMO リリース 14.1 クエリが修正され、計画 ROI および計画 IRR がパーセント計算済み数値として表示されるようになりました。 PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] という新しいコスト列が含まれます。また、[実コスト] 列も [実コスト (ACWP)] に名前が変更されます。
プログラムマネージャスケジュールダッシュボード	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクト分析	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクトベースライン	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。SQL Server 用にクエリが修正され、重複したディメンションエラーを生成しなくなりました。エラーの原因はクエリ内のデータベース機能に関する問題でした。長期のベースラインを計算する機能が修正され、エラーが取り除かれました。
フェーズ別プロジェクトコスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
リソース別プロジェクトコスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
タスク別プロジェクトコスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。

名前	タイプ	説明
[プロジェクト サイクル時間分析] クエリ	クエリ	PMO リリース 3.2 : WBS にいくつかのレベル（フェーズとタスクを含む）がある場合、クエリによって、ディメンションに関する重複したデータが生成されなくなりました。
プロジェクトドキュメントレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクトインジケータ	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
OBS 別プロジェクト KPI	クエリ	PMO リリース 3.2 : [プロジェクト詳細] 列は [プロジェクト ダッシュボード] に名前が変更されました。マッピングが、横向き矢印 - 中間色アイコンからダッシュボードアイコンに変更されます。
プロジェクトライフサイクルのレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
リスク管理	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム リスクがポートレットに表示されることを意味します。
スケジュールと進捗ステータス	クエリ	PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト] および [計画業務コスト] という新しいコスト列が含まれます。
スケジュールダッシュボード	クエリ	PMO リリース 3.3 : これは新しいクエリです。このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
スケジュール パフォーマンス	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリは、どの OBS ユニットにも関連付けられていないプロジェクトからのタスクを含み、[スケジュール パフォーマンス詳細] ドリルダウン ポートレットと一致する結果を表示するように変更されました。
スケジュール パフォーマンス の詳細	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ配置	クエリ	PMO リリース 14.1 ProjectID ページ リンク パラメータの名前が ID に変更されました。この変更で、[スタッフ割り当て] ポートレットを、プロジェクトダッシュボード ページでの設定に利用できるようになります。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ割り 当て	クエリ	PMO リリース 14.1 ProjectID ページ リンク パラメータの名前が ID に変更されました。この変更で、[スタッフ割り当て詳細] ポートレットを、プロジェクトダッシュボード ページでの設定に利用できるようになります。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レ ポート インジ ケータ	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レ ポート リスト	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。

名前	タイプ	説明
チーム キャパシティ	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。
チーム メンバ オーガナイザ	クエリ	PMO リリース 3.2 : クエリは、タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合にガイドラインアイコンを表示するように変更されています。
タイムシート メモ	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
タイムシート のレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
トランザク ション レ ビュー	クエリ	PMO リリース 3.3 : 集計関数を持った量が、ディメンションプロパティからメトリックに変換され、パワー フィルタで利用できなくなりました。これは、クエリ属性が集計関数を持ち、属性がパワー フィルタで選択されている場合、CA Clarity PPM がシステム エラーを生成するからです。 PMO リリース 3.2 : クエリには、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が含まれます。また、パラメータ フィルタとして [入力番号] も含まれています。
今後のプロ ジェクトマイ ルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

アドイン項目のインストール(以前にインストールしたリリースのみ)

アドインの既存のインストールがある場合、または以前に **CA Clarity PPM Studio** オブジェクトが設定されている場合は、このセクションで記述されているステップを実行します。アドインを初めてインストールするときは、これらの手順は必要ありません。

次の手順に従ってください:

1. **CA Clarity PPM** へログインします。
2. **[管理]** を開き、**Studio** で **[コンテンツ アドイン]** をクリックします。
[コンテンツ アドイン] ページが表示されます。
3. **[アクセラレータ: プログラム マネジメント オフィス]** アドイン (ID : **csk**) のリストアイコンをクリックします。
[Content Add-In Items List] ページが表示されます。

4. リスト内の項目を確認し、[更新の準備ができました] または [未インストール] である項目を選択します。このページで利用できるステータス フィルタを使用してください。

[Status] は、アドイン項目が CA Clarity PPM にインストールされるかどうかを示します。

値：

- [未インストール]。このアドインバージョンで新しく追加された項目、またはインストール時にエラーが発生した項目。以前の CA Clarity PPM リリースからのアップグレードの後に PMO アクセラレータが正しくアップグレードされていない場合は、いくつかの項目が [未インストール] として表示され、アドインをインストールする必要があることを伝えるアラートメッセージが表示されます。アドインをインストールして、これらの項目のステータスを変更します。
- [更新の準備ができました]。以前のアドインバージョンからインストールしている項目で現在のアドインバージョンで更新されている項目、または Studio を使用して更新したビューでアドインによって更新されたビュー。

重要: 項目をインストールする前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目をインストールすると、設定が上書きされます。

- [インストール済み]。インストールされている項目です。
5. インストールする製品を選択します。

PMO アクセラレータ リリース 14.1 で更新された項目のリストと各更新の説明については、「[PMO リリース 3.3 から PMO リリース 14.1 へのアップグレード](#) (P. 47)」を参照してください。

ユーザが以前に Studio オブジェクト ビューを設定している場合、設定は保持され、インストール中に上書きされません。それらを選択することにより、インストールするビューを決定できます。PMO アクセラレータによるビューの設定方法の詳細については、「[PMO アクセラレータ製品ガイド](#)」を参照してください。

6. (アップグレードの場合のみ) ステータスが「更新の準備ができました」になっているアクティブなプロセス インスタンスがある場合は、それらをすべてキャンセルして削除します。

CA Clarity PPM 管理者に問い合わせるか、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

7. [Install] をクリックします。

[コンテンツ項目のインストールを確認] ページに、インストールを選択された項目が表示されます。選択された項目が他の項目と依存関係にある場合は、ページに依存項目も表示されます。これらの項目もインストールする必要があります。

重要: 項目をインストールする前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目をインストールすると、設定が上書きされます。

8. 項目を更新またはインストールするには、[はい]をクリックします。

[確認] または [インストール] ページにリスト表示される項目がユーザによって事前に変更された場合は、更新を表示する前に、その項目がユーザに示されます。

詳細については、Studio 開発者のドキュメントを参照してください。

CA ベストプラクティス アクセラレータ

PMO アクセラレータ v2.0 以降、PMO アクセラレータ アドインには、ベストプラクティス アクセラレータ (BPA) が以前にインストールされている場合にすでに存在する可能性のある、ポートレット、プロセス、サブオブジェクト、テンプレートが含まれています。PMO アクセラレータ v1.3 からアップグレードしており、BPA をインストールしている場合は、PMO アクセラレータ リリース 14.1 にアップグレードする方法の詳細については、「[Upgrading from Clarity's Best Practices Accelerator to PMO アクセラレータ v2.1](#)」というドキュメントを参照してください。

PMO アクセラレータ サンプル データのインストール

PMO アクセラレータのサンプルデータをインストールすると、CA Clarity PPM の機能の例を確認して使用できます。

重要: サンプルデータは厳密にテストまたは開発環境向けです。サンプルデータを実稼働 CA Clarity PPM サーバにインストールしないでください。データを含む CA Clarity PPM サーバにサンプルデータをインストールすると、エラーになったり、既存のデータを上書きしたりすることがあります。サンプルデータをインストールした後は、それを削除できません。

アドインサンプルデータをインストールする前に、システム通貨を USD に設定し、CA Clarity アプリケーション (app) および CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを停止します。

以下の手順に従います。

1. admin として、または [会計保守 - 会計管理] および [会計保守 - FOS(会計組織構造)] グローバル アクセス権を持つ任意のユーザとして CA Clarity にログインします。
2. [管理] を開き、[会計] メニューから [セットアップ] をクリックします。
会計管理の既定値ページが表示されます。
3. 通貨に USD を選択して保存します。
4. CA Clarity システム管理にログインします。
5. [ホーム] を開き、[すべてのサービス] をクリックします。
6. CA Clarity アプリケーション (app) サービスと CA Clarity バックグラウンド (bg) のチェック ボックスをオンにします。
7. [停止] をクリックします。
8. IBM WebSphere を使用している場合は、アプリケーションサーバの管理コンソールを使用して、CA Clarity システム管理とアプリケーションを停止します。
詳細については、J2EE ベンダーのドキュメントを参照してください。
9. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM runtime bin ディレクトリに移動します。
10. 以下のコマンドを入力して、サンプルデータをインストールします。
admin content-demo csk

インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。出力ファイルは `logs/content/xog/csk` ディレクトリに格納されます。

11. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

第 3 章：認定およびサポートされているバージョン

以下の PMO アクセラレータ と CA Clarity PPM の組み合わせのみが認定およびサポートされています。この表で、正しい PMO アクセラレータ と Clarity の組み合わせがあることを確認してください。

CA Clarity のバージョン	アドインのバージョン
14.1	14.1
13.3	3.3
13.2	3.2
13.1	3.1
13.0	3.0
12.1	2.2
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.6	2.1.1
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.5	2.1
8.1.5	2.0
8.1 Service Pack 2	1.3
8.1.1	1.2

重要： PMO v1.2 から PMO v3.0 へのアップグレードは、有効なアップグレードパスではありません。PMO v1.2 をインストールしている場合は、PMO リリース 3.1 以降にアップグレードする必要があります。

PMO v1.2 より前のバージョンからアップグレードする場合は、PMO リリース 3.3 にアップグレードする前に、COP_PROJECT_ROLLOUP_V データベース ビューにパッチを適用して、PRASSIGNMENT テーブルの PRBASESUM 列への参照を削除する必要があります。パッチを入手するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。

第 4 章：ローカライゼーション

ユーザインターフェースは、サポートされている以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語（ブラジル）
- カタロニア語
- 中国語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語
- スウェーデン語
- トルコ語

ローカライズ済みドキュメントの最新版は、[CA サポート](#)の [ドキュメント] リンクからオンラインで利用できます。

第 5 章: ドキュメント

「PMO アクセラレータ製品ガイド」には製品概要およびインストール情報が記載されています。また、このガイドにはアドインの使用方法に関する詳細なプロセスと手順が含まれています。

「PMO アクセラレータ製品ガイド」と「リリース ノート」の最新のバージョンは、[CA サポート](#)の「ドキュメント」ページから利用可能です。ドキュメントの最新版については、この **Web** サイトに定期的にアクセスしてください。

第 6 章：追加リソース

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[テクニカル サポートへのお問い合わせ](#) (P. 45)

テクニカル サポートへのお問い合わせ

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイトをご覧ください。

Web アドレス：

<http://www.support.ca.com>

電話番号：

北アメリカ：1 888 (550) 6458

ヨーロッパ：44 08459 (888788)

アジア太平洋：61 3 (9821) 3000

第 7 章: アップグレード情報

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[PMO リリース 3.3 から PMO リリース 14.1 へのアップグレード \(P. 47\)](#)

PMO リリース 3.3 から PMO リリース 14.1 へのアップグレード

PMO リリース 3.3 がインストールされていて、PMO リリース 14.1 にアップグレードする場合は、インストールされていない項目が [Content Add-In Items List] ページに表示されます。これらの項目のステータスには、[更新の準備ができました] と表示されます。多くの場合、項目が [更新の準備ができました] と表示される理由は、新しいアドインバージョンに含まれる項目に更新があるためです。

以下の表に、PMO リリース 3.3 が完全にインストールおよび適用され（すべてのカスタム ビューを含む）、PMO リリース 14.1 にアップグレードされたシナリオを示します。テーブル内の項目は、コンテンツ項目をキーとしてアルファベット順に並べ替えられます。

重要: 表を参照して、[更新の準備ができました] ステータスを持ったアドイン項目のインストールに推奨されるアクションの説明を確認してください。更新の適用が、「強く推奨」、「推奨」、または「オプション」のいずれかを判断できます。

以下のフィールドが表に表示されます。

コンテンツ項目

項目名を示します。[Content Add-In Items List] ページのコンテンツ項目と同じです。

タイプ

項目タイプを示します。[Content Add-In Items List] ページのタイプと同じです。

説明

更新の説明、および更新を適用する理由についての簡単な説明です。

アクション

項目に対して実行する必要があるアクションを示します。

値：

- **SR**。更新が強く推奨されます。これはインストールする必要があります。
- **R**。更新が推奨されます。これはインストールする必要があります。
- **O**。更新はオプションです。カスタム ビューまたは項目を変更した場合または変更が上書きされるのを望まない場合以外は、更新のインストールを推奨します。ビューの更新を適用しない場合は、変更の説明を読み、設定されたビューで手動で変更を行うことを考慮するようにしてください。

重要: 項目をインストールする前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目をインストールすると、設定が上書きされます。

コンテンツ項目	タイプ	説明	アクション
利益計画詳細オブジェクトフィ ルタ ビュー	表示	以下の属性はビューに表示されませんが、名前が変更されます。[合計請求利益]は[請求利益合計]に、[実際利益合計]は[達成利益合計]に、[合計利益]は[利益合計]に変更されます。これらの属性はPMO リリース 3.3 で名前が変更されました。属性名を更新するために、このビューのインストールが必要なのは、以前のリリースだけです。	O
概要ページ	ページ	[リスク、問題および変更] タブに対して行われた変更のため、[概要] ページは[更新の準備ができました]として表示されます。[概要] ページの[リスク、問題および変更] タブは、新しい[変更依頼管理] ポートレットを表示するように変更されています。[リスク管理] および [問題管理] ポートレットは、このタブ上に現在も存在しています。このタブは、PMO リリース 14.1 で、[問題とリスク] から [リスク、問題および変更] に名前が変更されました。	R

コンテンツ項目	タイプ	説明	アクション
PMO ポートフォリオ投資ダッシュボード	ページ	新しい [スコアカード] タブの存在、さらには [分析] タブの変更が原因で、[PMO ポートフォリオ投資ダッシュボード] が [更新の準備ができました] として表示されます。 [PMO ポートフォリオ投資ダッシュボード] ページの一部にあたる、新しい [スコアカード] タブには、[残高] と [投資コストとロール需要] の 2 つのポートレットが含まれます。[残高] ポートレットは新しいポートレットで、[投資コストとロール需要] ポートレットは以前に [分析] タブで利用できました。 [PMO ポートフォリオ投資ダッシュボード] ページの一部にあたる、[分析] タブは変更され、[ゴール別計画コスト]、[ゴール別計画利益]、[ゴール別ロール需要]、および [ゴール別計画 NPV] ポートレットを表示します。以前にこのタブにあった [ウォーターライン別計画コスト] および [ウォーターライン別ロール需要] ポートレットは削除されましたが、現在も、設定に利用できます。以前に [分析] タブで利用できた [投資コストとロール需要] ポートレットは、現在、新しい [スコアカード] タブで利用できます。	R
ポートレットタイムシート期間参照	ルックアップ	ルックアップが変更され、[フィールド要素タイプ] として日付ピッカーを使用して [開始日] および [終了日] 属性を表示するようになりました。[期間] 列が削除されました。CA Clarity PPM で言語およびロケールの設定を変更しても、ルックアップでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。 いくつかのシナリオで、[フィールド要素タイプ] が [日付ピッカー] としては更新されず、テキストとして残ります。この問題が発生する場合の回避策は、[開始日] および [終了日] 属性について、[フィールド要素タイプ] を [日付ピッカー] に手動で変更することです。	SR
スタッフ割り当て見通しのドリルダウン	ページ	ProjectID ページ リンク パラメータの名前が ID に変更されています。この変更で、[スタッフ割り当て詳細] ポートレットを、プロジェクトダッシュボード ページでの設定に利用できるようになります。	R

コンテンツ項目	タイプ	説明	アクション
タイムシートの 概要フィルタ	ポート レット	ポートレット フィルタが変更され、プルダウン リストの代わりに参照として [タイムシート期間] フィールドを表示するようになります。 [タイムシート期間] フィールドは [ポートレット タイムシート期間参照] ルックアップを使用します。 表示タイプが参照に変更されたため、 [開始日] および [終了日] 列の表示ならびに期間は、言語およびロケールの設定を変更しても正しくフォーマットされます。	SR